

# 少子高齢と人口減少社会に対応した 生活サービス再構築に関する基礎的研究

A Basic Study on Restructuring of Life Service  
Corresponding to Less Children, Aged and Population Decrease Society

泊 和 哉(隠れ本間研究室)

## 1 | はじめに

### ■ 研究の背景と目的

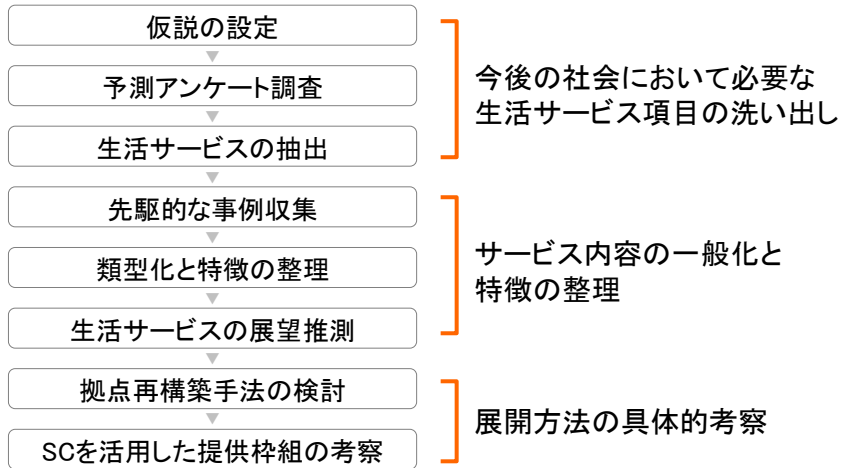
少子高齢化・人口減少社会に突入



社会システム・行政サービスの総合的な見直し

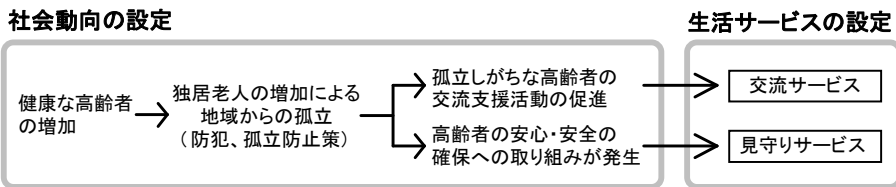
生活サービスの再構築手法確立を主眼とし、  
今後の社会に求められるサービス像と  
その展開方法に関する基礎的知見を得る。

■ 研究の構成



■ 仮説の設定方法

KJ法によりキーワードを整理し、  
20年後の**社会動向**とそれに伴う**生活サービス**の仮説を設定



## 2 | 社会動向とサービスに関する仮説の設定と検証

4

### ■ デルファイ法によるアンケート調査

#### ・ウェブアンケート形式で2回実施

有効回答者: 127名

調査期間: 平成17年10月～11月

#### 社会動向の設問例

大項目: 健康な高齢者の増加に伴い、市場における高齢者労働力の活用が期待される

No.	小項目	可能性
Q1-1	高齢者の経済的自立が求められ、高齢者雇用支援施設の整備が進む	<input type="radio"/> 大 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 小 <input type="radio"/> なし

#### 生活サービスの設問例

大項目: 高齢者の生きがいを形成するもの

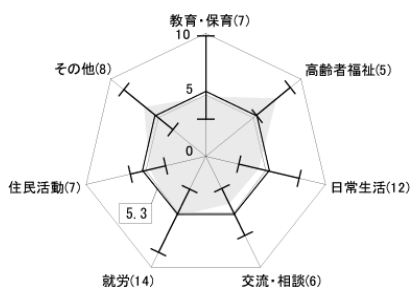
No.	小分類	必要度	普及時期
Q6-1	高齢者雇用支援型サービス 健康な高齢者が、追加的収入を得るとともに、健康を保持し、生きがいを持ち、働くことを通して社会に参加することを支援するサービス(シニア人材サービス、ベンチャー支援事業)	<input type="radio"/> 大 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 小 <input type="radio"/> なし	<input type="radio"/> すでに普及している <input type="radio"/> 0～5年後 <input type="radio"/> 5～10年後 <input type="radio"/> 10～20年後 <input type="radio"/> 普及しない

## 2 | 社会動向とサービスに関する仮説の設定と検証

5

### ■ アンケート調査の結果

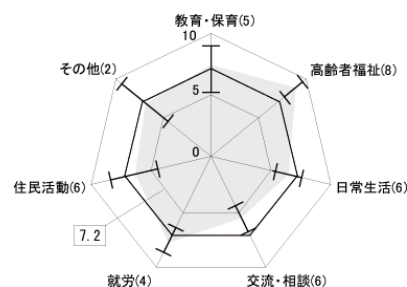
#### 社会動向



#### 実現可能性が高い項目

- ・高齢者福祉
- ・児童福祉

#### 生活サービス



#### 必要性が高いサービス

- ・高齢者福祉
- ・保育
- ・就労支援
- ・防犯に関するサービス

## 2 | 社会動向とサービスに関する仮説の設定と検証

6

### ■ 生活サービスの抽出(75項目)

少子化    高齢化    人口減少

c-1 公共交通利用促進サービス	c-10 職業訓練
c-2 ネットスーパー	c-11 防犯ボランティア
c-3 配食サービス	c-13 災害支援・安否情報
c-4 簡易窓口サービス	c-13 災害ボランティア
c-5 外国人相談室	c-14 農業・林業・漁業体験
c-6 交流サロン	c-15 ふるさと生活体験
c-7 公民館講座(サークル)	c-16 複合施設
c-8 健康維持サービス	c-17 人材支援サービス
c-9 職業相談・職業紹介	

## 3 | サービス内容の一般化と特徴の整理

7

### ■ 事例の収集

#### 新聞・インターネットから事例収集

- ①実施場所、②提供内容、  
③サービスの形式、④提供者/対象者、⑤広がり

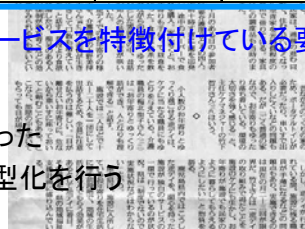


サービス	事例名称	内容	サービスの形式	提供者	広がり
防犯ボランティア	まもるっち品川区 (東京都品川区)	子供たちが身につけた発信器により、緊急時にボランティア協力者の電話にSOS連絡が行くシステム	マンパワー 通信機器	NPO法人 民間組織	町丁学区～ 市区町村
	防犯パトロール (鹿児島市武岡)	小学生の登下校時に「青パト」で近所を見回る	マンパワー	地域住民組織 老人クラブ	班・組～ 町丁学区

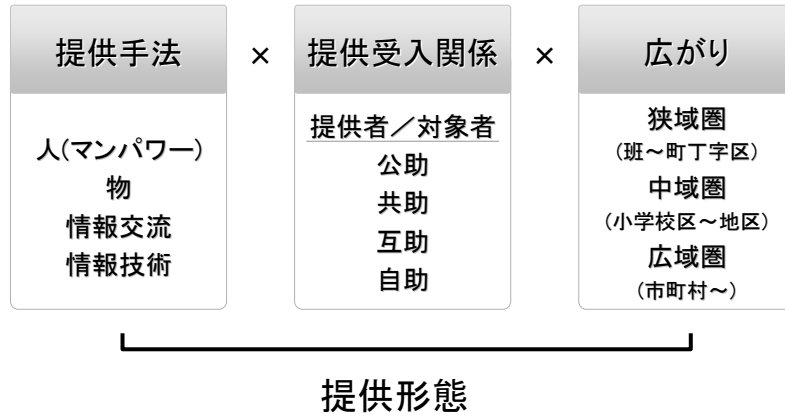
サービスを特徴付けている要素

### ■ 類型化

個別性を見直し、今後の社会動向に見合った  
サービスの基本的指標(一般解)として類型化を行う



■ 類型化の主な項目

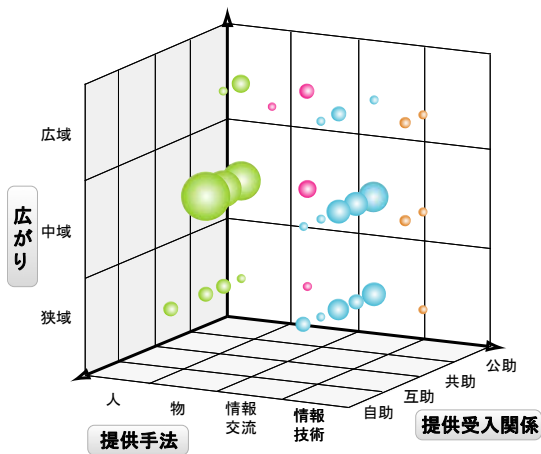


■ 類型化の結果(一部抜粋)

159事例を75項目の生活サービスに対応、110種類にパターン化

生活サービス名称		提供手法	提供と受け入れ関係				広がり															
			提供者	支援形態	単独協働	対象者	規模	面積距離	時間	圏域												
										班・組	町内会	町丁字区	小学校区	中学校区	地区	市区町村	市区町村	都道府県	地方	国		
a-1-1	保育サービス	手法1-A-a	市区町村 民間組織	共助 公助	協働	乳幼児 母親	小規模	近距離	短時間													
a-1-2	保育サービス	手法1-A-a	民間組織	共助	単独	乳幼児 母親	小規模	近距離	短時間													
a-2	病後時 保育サービス	手法1-A-a	民間組織	共助	単独	乳幼児	中規模	中距離	中時間													
a-3	家庭的保育 サービス	手法1-A-a	市区町村 民間組織 近隣住民	共助 公助	協働	乳幼児 母親	小規模	近距離	短時間													
a-4	延長保育 サービス	手法1-A-a	市区町村 民間組織	公助	協働	乳幼児 母親	小規模	近距離	短~中 時間													

■ サービスの展望分析



提供形態を軸として、  
今後の展望を推測する。

提供手法

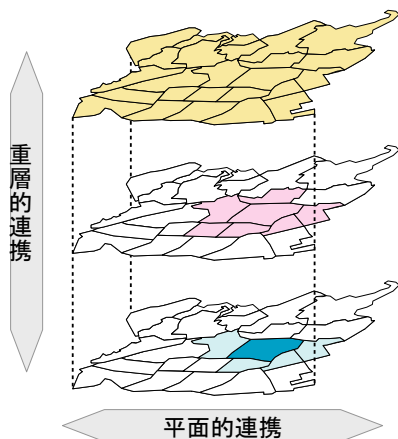
×

提供受入関係

×

広がり

■ サービスの展望分析① 人(マンパワー)によるサービス



中域圏での  
共助・互助によるサービス

狭域圏でカバーできない場合

▼

近隣との連携: 並列構成  
重層的な連携: 段階構成

▼

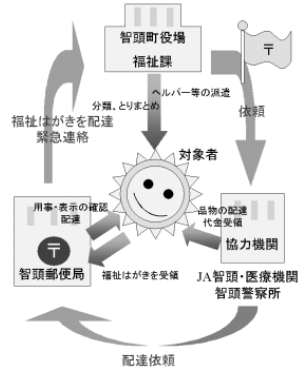
セーフティーネットの構築

きめ細やかな提供

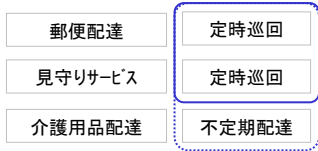
▼

提供主体の連携  
ニーズの把握と効率的伝搬

■ サービスの展望分析② 物を媒体としたサービス

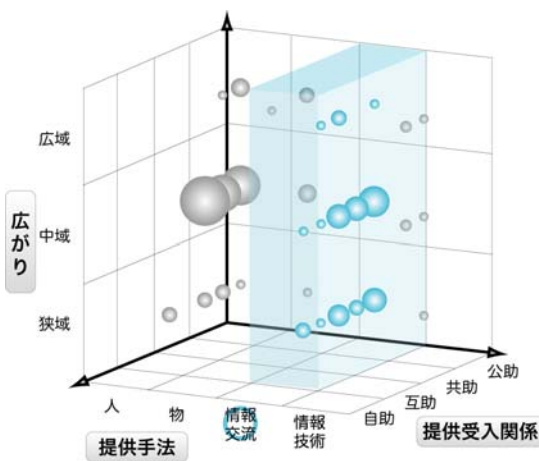


- 用途や目的が限定される
- ▼
- 既存インフラの活用
- ▼
- ・分野の枠を超えた効率的な提供手法の確立
  - ・最短ルートや周回頻度などコストの最適化
  - ・面的広がり+線状広がり



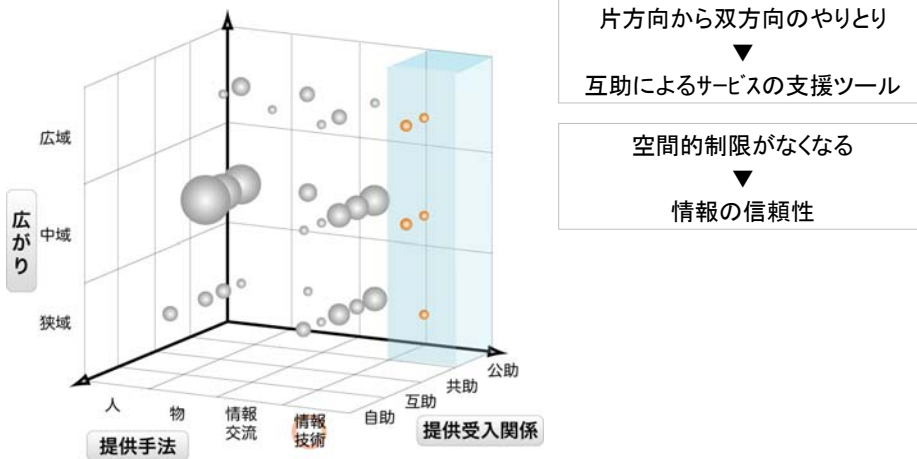
「共通項」でくる連携

■ サービスの展望分析③ 情報交換等を目的とした交流サービス



- 交流の目的に着目
- ▼
- 情報の有益性
- ▼
- 狭域圏
- ▼
- 住宅・集会所などが拠点となる年代を超えた交流  
拠点多様化
- IT技術利用ヘシフト

■ サービスの展望分析④ 情報通信技術を活用したサービス



■ 拠点の再構築

類型化の結果(一般解)



実際に地域で展開(特殊解)

適正規模の検証、拠点間連携のモデル考察

- 〔・狭域・中域・広域といった複眼的思考〕
- 〔・面的広がり+線状広がり〕



■ 拠点再構築の着眼点

① 人口構成推移:

- ・当該地域におけるサービスのニーズや提供能力を把握

② 供給拠点の配置状況:

- ・地域に存在する施設の把握
- ・地域住民のつながりやNPOなどSCの実態把握

③ 地理情報:

- ・傾斜等の地理的環境や交通網
- 提供可能な範囲や提供者や利用者の移動負担などに影響

- ・狭域・中域・広域といった複眼的思考
- ・面的広がり+線状広がり

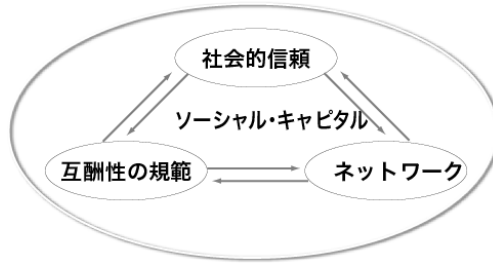
■ 生活サービスとSC

地縁や血縁による相互扶助の低下



SCを活用した新たな提供枠組み構築の必要性

■生活サービスとSC



	内部結束(Bonding)型 例) 民族ネットワーク	橋渡し(Bridging)型 例) 環境団体、圧力団体
形態	フォーマル	インフォーマル
つながり	厚い	薄い
志向	内部志向	外部志向

橋渡し型のSCが地域におけるサービス展開に有効

■生活サービスとSC

橋渡し型SCの醸成

▼  
問題の共有・可視化による意識の向上  
情報の伝搬、ネットワーク

▼  
ネットワークポロジの解明  
(相互扶助モデル)

▼  
情報の共有とSC醸成に有効な  
SNSの事例考察

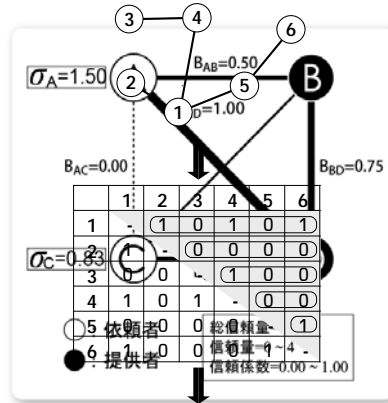
■ 相互扶助モデルの構築

人的ネットワークと信頼の関係性を形状(トポロジー)分析

(仮説)

橋渡し型SCにはスモールワールドの状態が有効

- ・社会概念のモデル化が可能
- ・解析手法の改良(GA)



GTTYPE 相互扶助モデル概念図

GAによる解析モデル概念

■ 地域SNSの事例考察

- ・プロフィール公開を原則
- ・テーマ別コミュニティ/ブログ/メッセージ(メール)等の機能
- ・実名公開を原則としたコミュニティサイト



全国版SNS



地域SNS

やりとりする情報の対象を限定

■ 地域SNSの事例考察

ごろっとやっちょろ  
(熊本県八代市)

- 日本初の地域SNS
- Web-GIS機能
- ・ イベント情報
- ・ 施設案内



■ SNSと生活サービス

- 信頼性を前提にした情報交換
- 地域福祉サービスとの連携
- 「近所付き合い」と「遠距離交際」の利点

問題の共有・可視化、情報の効率的な伝搬に有効



信頼に基づくネットワークの強化



SC醸成を担うツールとして今後も注目

**(1)生活サービスの洗い出し**

- ・高齢者福祉・児童福祉の重要性が顕著である。
- ・地域住民参加のサービスが必要。

**(2)生活サービスの再構築方法**

- ・多様な主体の連携
  - ・SCの醸成
  - ・セーフティネットワークの構築
- (段階構成論と並列構成論の組み合わせによるサービス体系の整理)

**(3)拠点再構築にむけた着眼点**

- ・従来の需要供給関係のみならず、新たな提供枠組みに対応した階層的な思考が必要。
- ・モデル地区を設定し、適正規模の検証等行うことで、一連の研究体系に見通しが得られた。

## 少子高齢と人口減少社会に対応した 生活サービス再構築に関する基礎的研究

A Basic Study on Restructuring of Life Service  
Corresponding to Less Children, Aged and Population Decrease Society

居住環境構成学講座  
泊和哉